

東京2020大会以降の南スーダンとのスポーツ交流計画等について

スポーツ課

1. 東京2020大会以降の南スーダンとのスポーツ交流計画

(1) 計画概要

①内容

毎年2人のスポーツ選手を受け入れ、本市でトレーニングを行う。

- ・ 4月～9月：アウトドア競技1人
- ・ 10月～3月：インドア競技1人
- ・ 想定種目：陸上（男女）、サッカー（男子）、バレーボール（女子）、他

②期間

2021年10月～2025年3月（2024年パリ五輪予定）

- ・ その後はその時点の状況等を勘案して南スーダンと協議。

③概算費用

年間700万円（350万円／1人・6か月）

(2) 目的

①東京2020大会のレガシーづくり

国が推奨する“東京2020大会のレガシーづくり”の実践として、ホストタウン登録国である南スーダンとのスポーツ交流を継続する。

②南スーダンのスポーツ促進（＝平和構築）の支援

南スーダンの若者に「“National Unity day”（南スーダンの国民スポーツ大会）で活躍したら前橋市で勉強（日本文化とスポーツ）できる」という夢を与え、同国のスポーツの促進（＝平和の構築）を支援する。

2. ふるさと納税の継続募集

(1) ふるさと納税募集の状況

2021年1月末現在の寄附金合計

金額 31,126,886円

件数 1,538件

東京2020大会終了までの事前キャンプ費用はふるさと納税で募集しているが、2020年12月分をもって目標額の3,000万円に達した。

(2) ふるさと納税の継続募集

東京2020大会以降の南スーダンとのスポーツ交流の費用についてもふるさと納税を活用するため、今後もふるさと納税の募集を継続していく。

以上